

数 学

(解答番号 ~)

解答上の注意

1. 問題の文中の , , などには, 選択肢で示された数字 (0~9) または解答群の一つが入ります。 , , ……にあてはまる数字, 記号, 解答群の番号を, 解答番号に対応した解答欄にマークして答えなさい。
2. 分数形で解答する場合は, 既約分数(それ以上約分できない分数)で答えなさい。例えば, $\frac{3}{4}$ と答えるところを, $\frac{6}{8}$ と答えてはいけません。
3. 根号を含む形で解答する場合は, 根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。例えば, $4\sqrt{2}$, $\frac{\sqrt{13}}{2}$, $\frac{3+2\sqrt{2}}{2}$ と答えるところを, $2\sqrt{8}$, $\frac{\sqrt{52}}{4}$, $\frac{6+4\sqrt{2}}{4}$ のように答えてはいけません。

[I] 2次関数 $f(x) = x^2 + 2mx + 4m - 2$ (m は定数)がある。次の文章の空欄にあてはまるものを選択肢の中から選びなさい。ただし, 同じものを繰り返し選んでもよい。解答番号は ~ 。(20点)

- (1) $f(x)$ が $x = 1$ で最小となるときの m の値は, $m = -$ で, そのときの最小値は, $f(1) = -$ である。
- (2) $y = f(x)$ のグラフは m の値によらず, 点 $(-$,) を通る。
- (3) $y = f(x)$ のグラフの頂点は, $y = -x^2 -$ $x -$ 上にある。
- (4) $y = f(x)$ のグラフが x 軸と交わらないとき, m のとりうる値の範囲は, $-\sqrt{$ $< m <$ $+\sqrt{$ である。

(5) 方程式 $f(x) = 0$ が正と負の異なる 2 つの解をもつとき,

m のとりうる値の範囲は, $m < \frac{\boxed{11}}{\boxed{12}}$ である。

選択肢

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 1 | ② | 2 | ③ | 3 | ④ | 4 | ⑤ | 5 |
| ⑥ | 6 | ⑦ | 7 | ⑧ | 8 | ⑨ | 9 | ⑩ | 0 |

数 学

〔Ⅱ〕 $AB = 4$, $AC = 5$, $\cos \angle BAC = \frac{1}{8}$ の $\triangle ABC$ がある。次の文章の空欄にあてはまるものを選択肢の中から選びなさい。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。解答番号は $\boxed{13} \sim \boxed{31}$ 。(20点)

(1) $BC = \boxed{13}$ である。

また、 $\sin \angle BAC = \frac{\boxed{14} \sqrt{\boxed{15}}}{\boxed{16}}$ であるから、

$\triangle ABC$ の外接円の半径は、 $\frac{\boxed{17} \sqrt{\boxed{18}}}{\boxed{19}}$ である。

(2) 辺 AB 上に点 D を、 $\triangle BCD$ の外接円の半径が $\triangle ABC$ の外接円の半径に等しくなるようにとる。

$\sin \angle ABC = \frac{\boxed{20} \sqrt{\boxed{21}}}{\boxed{22} \boxed{23}}$ であるから、 $CD = \boxed{24}$ である。

また、 $AD = \frac{\boxed{25}}{\boxed{26}}$ であるから、 $\triangle ADC$ の面積は、 $\frac{\boxed{27} \boxed{28} \sqrt{\boxed{29}}}{\boxed{30} \boxed{31}}$ である。

選択肢

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 1 | ② 2 | ③ 3 | ④ 4 | ⑤ 5 |
| ⑥ 6 | ⑦ 7 | ⑧ 8 | ⑨ 9 | ⑩ 0 |

〔Ⅲ〕 座標平面上に2点 $A(-2, 8)$, $B(4, 6)$ と
 円 $K: x^2 + y^2 + 4x - 6y + 8 = 0$ があり, 円 K の中心を C とする。次の文
 章の空欄にあてはまるものを選択肢の中から選びなさい。ただし, 同じものを
 繰り返し選んでもよい。解答番号は $\boxed{32} \sim \boxed{43}$ 。(20点)

C の座標は $(-\boxed{32}, \boxed{33})$, 円 K の半径は $\sqrt{\boxed{34}}$ である。

点 A を通り直線 AB に垂直な直線を l とする。

l の方程式は $y = \boxed{35}x + \boxed{36}\boxed{37}$ である。

また, 円 K と直線 l の交点を D, E とすると, DE の長さは $\sqrt{\boxed{38}\boxed{39}}$
 である。

次に, 円 K 上に点 P をとり, $\triangle PDE$ をつくる。

$\triangle PDE$ の面積の最大値は, $\frac{\boxed{40} + \boxed{41}\sqrt{\boxed{42}}}{\boxed{43}}$ である。

選択肢

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 1 | ② 2 | ③ 3 | ④ 4 | ⑤ 5 |
| ⑥ 6 | ⑦ 7 | ⑧ 8 | ⑨ 9 | ⑩ 0 |

数 学

- 〔Ⅳ〕 x の 3 次式 $P(x) = x^3 + (p - 1)x^2 + px + q$ があり、 $P(1) = 0$ を満たす。
ただし、 p, q は実数の定数である。次の文章の空欄にあてはまるものを選択肢の中から選びなさい。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。解答番号は ～ 。(20点)

q を p で表すと $q = -$ p であるから、 $P(x)$ を因数分解すると、

$$P(x) = (x - \text{}) (x^2 + px + \text{} p)$$
 である。

3 次方程式 $P(x) = 0$ が虚数解をもつときを考える。

このとき、 p のとりうる値の範囲は、 $< p <$ である。

また、この 2 つの虚数解を α, β とする。

$\alpha^2 = 2\beta$ が成り立つとき、 $p =$ である。

さらにこのとき、 $\alpha^3 + \alpha^2 + \beta^3 + \beta^2 =$ である。

選択肢

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 1 | ② | 2 | ③ | 3 | ④ | 4 | ⑤ | 5 |
| ⑥ | 6 | ⑦ | 7 | ⑧ | 8 | ⑨ | 9 | ⑩ | 0 |

- 〔V〕 座標平面上に点 $A\left(0, \frac{3}{2}\right)$ をとり、関数 $y = \log_2 x$ のグラフ上に点 $P\left(\frac{p}{\sqrt{2}}, \log_2 \frac{p}{\sqrt{2}}\right)$ と、点 $Q\left(\frac{q}{\sqrt{2}}, \log_2 \frac{q}{\sqrt{2}}\right)$ をとる。線分 AP を $1 : 2$ に内分する点が点 Q であるとき、定数 p と q の値を求めよう。次の文章の空欄にあてはまるものを選択肢の中から選びなさい。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。解答番号は $\boxed{52} \sim \boxed{70}$ 。(20点)

線分 AP を $1 : 2$ に内分する点の座標は、

$$\left(\frac{\sqrt{\boxed{52}}}{\boxed{53}}p, \frac{1}{\boxed{54}}\log_2 \frac{\sqrt{\boxed{55}}}{\boxed{56}}p + \boxed{57}\right)$$
 と表され、これが点 Q の座標と

一致するので、

$$\frac{\sqrt{\boxed{52}}}{\boxed{53}}p = \frac{q}{\sqrt{2}} \dots\dots \textcircled{1}$$

$$\frac{1}{\boxed{54}}\log_2 \frac{\sqrt{\boxed{55}}}{\boxed{56}}p + \boxed{57} = \log_2 \frac{q}{\sqrt{2}} \dots\dots \textcircled{2}$$

①より、 $p = \boxed{58}q$

②より、 $p = \frac{1}{\boxed{59}\boxed{60}}q^{\boxed{61}}$ と変形できるので、

$p > 0, q > 0$ に注意して、 $p = \boxed{62}\boxed{63}\sqrt{\boxed{64}}$ 、 $q = \boxed{65}\sqrt{\boxed{66}}$ である。

また、このとき点 Q の y 座標は、 $\log_2 \boxed{67}\sqrt{\boxed{68}}$ となるので、点 Q の y 座標の値を小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位まで求めると $\boxed{69}.\boxed{70}$ である。

ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ 、 $\log_{10} 3 = 0.4771$ とする。

選択肢

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 1 | ② 2 | ③ 3 | ④ 4 | ⑤ 5 |
| ⑥ 6 | ⑦ 7 | ⑧ 8 | ⑨ 9 | ⑩ 0 |